

市民公開講座 認知症は予防できる！？

2025年9月6日（土）附属病院 12階講堂にて、今年度最初の市民公開講座を開催しました。大変暑い夏日でしたが、多数の市民の皆様が公開講座にお越しくださいました。皆様の関心事はずばり認知症。—**認知症は発症したら治らないので、50代から予防するしかない。**—

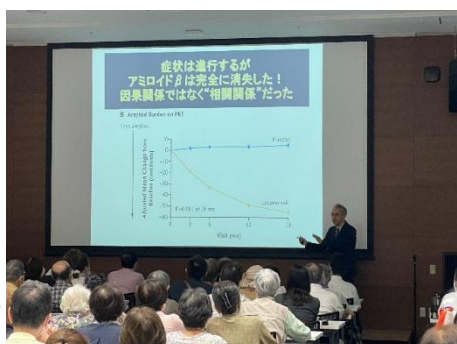
では何をすれば良いのか。自分や家族は大丈夫なのか。講演が終了した後も演者の池上匡先生に質問をされる方が長い列を作っていました。

まずは漠然と不安に感じていることを検査数値として見る。ご自分の脳が現状何%のリスクがあるのか。など、脳を調べるところから始めてみてはいかがでしょうか。日常生活リズムや習慣の改善などでリスクを軽減することができるかもしれません。この講演会が認知症と向き合うきっかけとなれば幸いです。今後も市民公開講座を年に数回開催する予定です。皆様是非ご参加ください。お待ちしております。



講演要旨

1. 新薬の治験結果では、アルツハイマー病の原因とされてきたアミロイドβを完全に除去したのにも関わらず認知症症状は進行した。
2. したがってアミロイドβが貯まる以前から、体質・脳内環境を改善するような予防策を行う必要がある。
3. AIを用いた脳解析研究により、50歳からでも将来アルツハイマー病に進行するリスクが測定可能となり、超早期にリスクのある患者さんを選択できるようになった。
4. 多くの研究論文を参考に、①脳細胞への酸化ストレス低下、②体内の感染・炎症の抑制、③アミロイドβなどの老廃物の持続的な排出促進、④脳細胞の変性を助長する処方薬の停止の4点が認知症の予防策となりうると考えた。
5. これらの具体的な予防策を考案し、賛同した患者さんに実行していただいている。



神奈川歯科大学附属病院

地域連携室